（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	三芳町ひみどり学園

公表日　令和7年　3月　7日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2つの部屋を活動により使い分け分けて工夫して使用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		当日登園するこどもの人数によって保育士を担当する保育士の人数を調整など臨機応変に対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリーや情報伝達等、障害児の動線が適切になされているか。	○		特性に応じた視覚支援等の構造化を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごしる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		園児が降園した後、生活空間の清掃やおもちゃの消毒等を毎日行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		パーテーションなどで個別の空間を作ったり、必要があれば別室で保育して工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定例でケース会議を行い、各児童の課題達成度合い等について確認しています。	
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意見を真摯に受けとめ、支援に繋げていけるようにがけています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月一度の職員会議や必要に応じてその都度話し合う機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			保護者からの事業所評価を兼する評価として業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		昨土後のZOOM研修や動画の視聴を中心にやんっています。また、講師を招いて園内研修も実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		プログラムを作成し、町のホームページにも掲載しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々に面談と口頭で「親子ニーズ」や「こどもの状況」の把握と「支援内容の確認」を行い作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画作成前に職員でケース会議を実施し、こどもの状態について事前に話し、各児童の成長面、課題を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		子どもと保護者のニーズに合った計画に沿って支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを良むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		外部機関で実施された検査結果等で発達状況の把握、保護者や相談員のかから情報やニーズを把握、再確認したり日々の活動から状況を把握するように努めています。	専門家が使用しているツールは使用していませんが、本人や保護者、相談員、他事業所などからアセスメントしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者の意向を受けつつ、子どもの現状について共有し、達成可能な課題設定を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		基本的には送迎業者が立案するが、ミーティングにおいてのブラッシュアップや修正も行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の状態や特性を踏まえ、保育所との交流、季節の素材を活かした活動を計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの特性に応じ各活動の配分、組み合わせ等検討し支援しています。保育所への交流では社会性にポイントを絞き、サーキットや散歩などで体力や身体面へのアプローチ、絵作等で脳先を使う活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日のケガと当日の朝、その日の活動内容や担当職員と役割分担について確認しています。また、出欠や登園方法（送迎事利用と自力登園など）を決定で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、その日の活動や子どもの状態、ヒヤリハット事例などについて職員全員で話し合い、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、保育計画と個別日誌に記録を行っており、その問題を含めケース会議の資料を作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定例のケース会議にて個々の状態や課題について確認し、必要に応じて修正している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議が開催されたときはかず参加し、意見交換や情報の共有等連携をとっている。また、相談等で個々の状況に合わせ、必要な情報交換を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		町の母子保健、福祉課、教育センター等と情報の共有、連携ができる体制は整えています。	
	26	銀行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		銀行利用先や移行先へ支援内容についての情報提供やアフターケアを必要に応じて行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		教育センター、特別支援学校とは、定期的に情報共有を行っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センター や障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		発達障害者支援センターへの研修参加や療育センター等への同伴受診を行い連携をとっています。また、助言を受けています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		非常勤の専門職員に月１～２回助言を受けたり、外部研修に参加し支援力（専門性）を高めています。	
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		三芳町地域自立支援協議会相談部会、障害児支援機関部会へ参加しています。（会議や情報交換会など）	
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		併設された保育所へ、個々の状況に合わせて交流を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳、送迎時に伝え合を行っています。必要に応じて面談を行い、随時状態や課題について共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		特別支援学校より特別支援教育コーディネーターの先生をお招き し、講話をお願 き する機会を年３回設けています。また、関係会と保育園会に て意見交換や実践を通した情報提供を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園時や年度初め、関係会等で説明を行っていると共に変更、追記があった場合は適宜説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		お子さんと保護者の意向を計画面に記載し、ニーズを踏まえて支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談の中で、個別支援計画をもとに説明を行い、同意、ご意見をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じ、電話相談や個人面談を受けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設け支援の改善をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		懇談会や親子遠足等、保護者同士が交流し関がれるよう機会を設け支援しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や意見は面接から関くようにしています。要望等を伺った場合は迅速に対応するよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行するとともに、HP やSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月２回通信を発行し、情報提供や写真を使用しながら療育中のエピソード等を紹介しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の記載があるものは、全て鍵のかかる所に収納し管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子ども、保護者ともに視覚的配慮等を行い、意思の疎通や情報伝達を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		併設されている保育所と共に、地域交流を行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		入園面接で契約時に概略を説明し、保護者と共に共有しています。職員は、定期的に防犯訓練、感染症対策研修を実施し、対応の確認を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、毎月併設されている保育所と共に必要な避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		入園面接での聞き取りや指示書に基づき確認しています。また、必要に応じて同伴受診を行い、情報を共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーの有無については、入園時に保護者に確認をし職員に周知しています。現在食物アレルギーのあるお子さんは不在ですが、対応できる体制は整えています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な情報を通じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、毎月併設されている保育所と共に必要な避難訓練、安全点検を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		通信で訓練の内容や実施状況を伝えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日のミーティング時に確認し、情報共有し記録を残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修に参加、動画視聴やミーティングで内部研修も実施しています。日頃から支援の振り返りで対応の確認を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体的拘束適正化のための指針を作成し、保護者には入園時に説明し確認を得ています。	